

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	第6回西脇市総合計画審議会
開催日時	平成30年8月7日（火） 午前10時から11時40分まで
開催場所	西脇市生涯学習まちづくりセンター 3階
出席委員の 氏名又は人数	12名
欠席委員の 氏名又は人数	6名
出席職員の職・ 氏名又は人数	事務局4名
公開・非公開 の別	公開
非公開の理由	
傍聴人の数	2名
議題又は 協議事項	1 西脇市総合計画・基本構想（案）について 2 西脇市総合計画・基本計画（案）について 3 その他
会議の記録（概要）	
発言者	<p><開会> 資料確認</p> <p><あいさつ> 暑い日が続く中、お集まりいただき感謝する。これまで基本構想について検討し、様々な意見を頂戴してきた。本日でこの基本構想案の議論を一応の区切りとしたい。 今後は基本構想に基づき、より具体的な内容を示した基本計画について検討していくこととなる。特に今回、案が示される福祉・医療分野は皆さんの関心も高いと思う。活発な議論を期待する。</p>
事務局	
会長	

事務局	<p>< 1 西脇市総合計画・基本構想（案）について > 資料に基づき、事務局から説明</p>
会長	<p>事務局から、前回の議論を踏まえた基本構想（案）の主な修正点について説明いただいた。特に、将来像の中のフレーズ「いろどり」を漢字で「彩り」としてはどうかという意見があった。</p> <p>説明のあった修正点等について、意見はあるか。</p> <p>（意見なし）</p>
会長	<p>それでは、将来像の表現について確認したい。感覚的な部分ではあるが、ひらがなが続くと区切りが分かりにくいために変更を検討してはどうかという趣旨であった。「いろどり」を「彩り」に変更することでよいか。</p> <p>（異議なし）</p>
会長	<p>それでは、「いろどり」を「彩り」に変更させていただくこととする。</p> <p>特に意見がなければ、基本構想についてはこれで確定させていただきたいがよろしいか。</p> <p>（異議なし）</p>
会長	<p>続いて、パブリック・コメントの実施についての提案である。基本構想は市の将来に関わるものであるため、広く市民から意見を伺いたいという趣旨である。</p>
事務局	<p>< 基本構想（案）パブリック・コメントについて > 資料に基づき、事務局から説明</p>
会長	<p>特に意見がなければ、より幅広く意見を伺うため、事務局から提案された方法でパブリック・コメントの手続を進めることとする。</p>

事務局	<p>< 2 西脇市総合計画・基本計画（案）について > 資料に基づき、事務局から説明</p>
会長	<p>福祉・医療分野の7つの政策を説明いただいた。今後はこのような形式で分野ごとに基本計画の議論を進めていくことになる。委員各位の意見をいただきたい。</p>
委員	<p>「政策3 市立西脇病院の機能を強化する」について。 将来、病院にかかる人が増えた場合、病床数は現状のまままで問題ないのか。</p>
市担当者	<p>西脇病院の病床数は320床あり、高度急性期6床、一般267床、地域包括ケア47床となっている。北播磨では現状でも高度急性期の病床が多く、兵庫県医療計画との関係で病床数を増加させるのは難しい。現在の稼働率は80%前後であり、平均すると90%程度でまだ少し余裕がある。増床には医師、看護師、職員の確保も合わせて必要となることから、ひとまず現行の320床で対応していきたい。</p>
委員	<p>「政策3 市立西脇病院の機能を強化する」について。 「病病連携・病診連携を推進します」の主な取組にある「地域連携クリティカルパス」は具体的にどのようなものか分かりにくいので、用語の説明が必要ではないか。</p>
事務局	<p>今回提示した資料では用語集が記載されていないが、御指摘のような用語については、できるだけ説明を記載していきたいと考えている。</p>
市担当者	<p>「地域連携クリティカルパス」とは、入院・手術・投薬・リハビリ・転院などのスケジュールをまとめた医療計画のことである。</p>
会長	<p>実際に病院にかかる状況にならなければ、分からないことも多い。特に福祉や医療などの分野はそうした傾向が強い。説明は十分に考えてほしい。</p>
委員	<p>「政策3 市立西脇病院の機能を強化する」について。 今後、精神科医の役割がさらに重要になるが、地域の小さなクリニックでは心理検査をしてもらえない。身近など</p>

	<p>ころで診断が受けられるようになることが望ましい。西脇病院ならそれが可能なので、専門的なことも含めて、病院と関係者・関係団体が相談しやすい環境づくりに期待したい。</p>
<p>会 長</p>	<p>御意見として受け止めておく。両者がアクセスしやすくなるよう、配慮を求めたい。</p>
<p>副会長</p>	<p>「政策2 地域医療を守る」について。 在宅・訪問介護のニーズが今後拡大すると思われるが、訪問にかなりの時間がかかる地域がある。医師の養成にも取り組んでいただいているが、すぐにどうにかなるものではなく、こうした計画が絵に描いた餅にならないようにしてほしい。</p>
<p>市担当者</p>	<p>医師の平均年齢が上がってきており、医師の確保も簡単ではない。在宅医療への対応も厳しくなるが、医師の数を増やさなくても、周辺スタッフと連携して医師の負担を軽減するといった方法で在宅医療を進めたい。</p>
<p>委 員</p>	<p>西脇市多可郡医師会の医師の平均年齢は高くなってきており、内科医の平均年齢は61～62歳程度である。ただ、診療所では病院と異なり手術等の負担はないので、ある程度年齢を重ねても対応できる。国の調査では、在宅医療の希望が6割という調査結果もあるが、まずかかりつけ医を持つことが大切だと考える。「西脇市の地域医療を守る条例」には、市民の責務として定められていることもあり、かかりつけ医を持つことについて理解を深めてほしい。 西脇市多可郡医師会には、39人の開業医がいるが、西脇市内では野村町に集中しており、かかりつけ医を持つことが難しい地区もある。医師の確保という課題はあるが、多可町の町立診療所のような施設が西脇市にもあるとよいと思う。</p>
<p>会 長</p>	<p>かかりつけ医、医師の確保についての御意見を踏まえ、計画への反映を検討してほしい。</p>
<p>副会長</p>	<p>「政策6 社会保障制度を適正に運営する」について。 ここでは「市民に期待される役割」が1項目しかない。</p>

	<p>国民年金制度の啓発が施策展開にあるので、「市民が制度を理解する」などの項目を増やしてはどうか。</p> <p>「政策1 地域福祉を充実する」について。</p> <p>「市民に期待される役割」の一つ目が「目指す姿」と酷似している。「目指す姿」と区別できるよう、表現を工夫してはどうか。</p>
事務局	<p>担当課と調整し、修正を検討する。</p>
委員	<p>「政策5 障害者福祉を充実する」について。</p> <p>制度が充実すれば、障害者の生活も充実するので、確かに制度の充実は大切である。しかし、「障害があるから」ではなく、誰もが一人の人として、それぞれの段階において周りの環境とどう関わっていくかを示すことはできないだろうか。</p> <p>例えば、教育の分野では、学校の先生との関わりや教育現場の対応の在り方などを分かりやすく示すことができる。学校との連携の方向性が明らかになる。就職についても同様で、障害者の就職についてどのように取り組んでいくのかを示すことができればと思う。</p>
事務局	<p>産業や教育など他の政策分野と密接に関わっていることは理解している。どのように記載するかは難しいところではあるが、十分配慮したい。</p>
委員	<p>細かい部分を言えば、総合計画に入りきれない部分は多々あるが、全体としてはこのような内容でよいのではないか。</p>
委員	<p>地域医療の分野で「充実する」ではなく「守る」となっていることが気になったが、救急利用の問題などについて説明を聞き、地域福祉や障害者福祉の「充実する」とは異なって「守る」という表現になっていることも納得できる。私も医療サービスを受けているが、やはり当事者にならないければ分からないことは多い。また、実際にサービスを受ける時にも、立場やプライドが邪魔して「自分は大丈夫」と思ってしまうこともある。制度を必要とする人が正しく理解し、利用できることが大切である。</p>

会 長	私もそういう状況を経験し、実感した。幸い、どのようなサービスがあるのかといった説明やアドバイスを受けて対応することができたが、そうした配慮がいかに重要であるかは当事者にならなければ分からない。サービスや支援の内容充実とともに、サービスを受ける側の視点や配慮も重要である。
委 員	今後は、今回議論した第2章と同様に、他の分野についても検討を進めていくことになるのか。
会 長	そのように考えている。
委 員	この計画の内容を教育現場にも伝えて、学校が自ら取り組む計画をつくっていくといったことが必要なのではないか。
会 長	重要な点である。それぞれの行政課題は一つの政策分野だけで完結するものではない。他部門との連携によって初めて解決するものだと考える。
委 員	「つながり」というキーワードで考えると、これからの情報化社会において、ITによるつながりも考える必要があるのではないか。例えば地域医療の分野では、ITを活用することで、訪問診療の代わりに遠隔診療が可能になる。そのような考え方を取り入れてもよい。
会 長	時代潮流やまちを取り巻く変化、特にITの活用については、現状では具体的なものがなくても、可能性に触れておいてもよいのではないか。
事務局	遠隔医療をはじめ、これからの社会において便利なものは積極的に取り入れていく必要がある。行政だけでは難しい部分については、大学や民間事業者の知恵を借りながら研究を深めていきたい。
会 長	本日は福祉・医療分野について意見をいただいた。事務局が用意している意見シートなども活用し、さらに意見があればお願いしたい。 また、今後より具体的な意見をいただく方法として、事

<p>事務局</p> <p>会 長</p> <p>会 長</p> <p>事務局</p>	<p>務局からワークショップの開催が提案されている。</p> <p><ワークショップの開催について></p> <p>資料に基づき、事務局から説明</p> <p>8月後半に各グループ2回程度の開催を考えている。具体的な日程等については別途案内する。リラックスした場で、より自由な発想で提案やアイデアをいただきたい。</p> <p>事務局から提案された方法で、基本計画の議論を深めたいが、よろしいか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>それでは事務局の提案に基づき、ワークショップを実施する。各委員には積極的な意見をお願いします。</p> <p>< 3 その他 ></p> <p>次回開催は9月を予定しているが、進捗状況によっては10月になるかもしれない。別途連絡させていただく。</p> <p>今後は一度の審議会に複数分野の計画案を提示する場合もある。章立てが前後することがあるかもしれないが、よろしく願いしたい。</p> <p>本日言い足りなかったこと、後でお気づきのことなどあれば、意見シート等で伝えてほしい。本日いただいた質問や提案についても、できる限り次回にお答えしたい。</p> <p>本日も熱心な議論をいただき、感謝する。</p> <p>< 閉会 ></p>
<p>問合せ先</p>	<p>西脇市都市経営部次世代創生課</p> <p>TEL 0795-22-3111 / FAX 0795-22-1014</p>